

# Press Release

報道資料



東洋電装株式会社

本社 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目10番4号

2017年5月23日

各位

東洋電装株式会社

## 群馬大学との自動運転に関する産学連携について

～次世代モビリティ社会実装に関する研究について車載部品メーカーと大学が連携～

東洋電装株式会社（社長：小出 潔、以下：東洋電装）と国立大学法人群馬大学（学長：平塚浩士、以下：群馬大学）は、自動運転に関する産学連携の取り組みを開始いたします。

昨今、交通事故の削減、渋滞による経済損失の低減、高齢者等の運転弱者の移動支援を目的に、産学官金それぞれの領域で、自動運転自動車（以下：自動運転車）の開発・普及に向けた動きが活発化しています。

群馬大学は、昨年10月より群馬県桐生市内で自動運転車の公道実証実験を開始しており、昨年12月より次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点形成を目指し、同大学内に「次世代モビリティ社会実装研究センター」を設置しました。当研究センターでは、群馬県桐生市における公道実証実験を皮切りに、関連分野の企業や自治体等と連携をしながら自動運転の社会実装を積極的に展開します。2017年度内に、大学としては国内最大の完全自律型自動運転に特化したオープンイノベーション型研究開発施設を整備していく予定です。

東洋電装は、来たる自動運転社会や電動化に向けて、昨年1月にイノベーション開発部を発足し、オープンイノベーションにより他業種とのコラボレーションで新規アイテムの開発などを精力的に行ってきました。そのような中、群馬大学の今取り組みに共感し、群馬大学と共同研究を行い、完全自律型自動運転の実体験からの知見を得ることで、自動運転社会で求められる操作系のあるべき姿を研究し、新規アイテムの開発を目指します。今後、東洋電装は、専用の自動運転車を用意して、群馬大学が進めていく実証実験を通じた新規アイテムの開発、検証を行ってまいります。

東洋電装と群馬大学は、完全自律型自動運転を可能とする次世代モビリティの社会実装・実用化を目指し、自動運転車に必要な技術要素に関する共同研究を行うとともに、両者で連携しながら、今後も、自動運転車やモビリティ社会に貢献してまいります。

以上



群馬大学の自動運転車  
(実験用車両)